613-001209 Rev.H 130809

Allied Telesis

CentreCOM® 9424T リリースノート

この度は、CentreCOM 9424T をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ファームウェアバージョン　2.11.6J

2　本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン2.11.5Jから2.11.6Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

2.1　SHOW DEBUG コマンドまたは SHOW CPU HISTORY コマンド実行時、まれに本製品がリブートする場合がありましたが、これを修正しました。

2.2　ユニキャストの DHCP Reply 転送時に、割り当てようとした IP アドレスが既に ARP 登録されていると、DHCP Reply（Offer や Ack）パケットの 宛先 IP アドレスおよび宛先 MAC アドレスに ARP エントリーの IP アドレスと MAC アドレスを使用してしまい、本当の宛先とは異なるアドレスに対して Offer パケットを転送していましたが、これを修正しました。

3　本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 2.11.6J には、以下の制限事項があります。

3.1　SNMP

参照「コマンドリファレンス」/「運用・管理」/「SNMP」

○　複数の SNMP マネージャーから同時にプライベート MIB の取得を繰り返し行っていると、本製品の SNMP エージェントが応答しなくなる場合があります。

○　ipAdEntIfIndex および ifIndex には、物理ポート数＋（VLAN ID×16）の値が付与されます。

3.2　複数ポートから 1 ポートへの通信

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

Jumbo フレームを複数ポートから 1 ポートに対して同時に送信すると、受信した 1 ポートからフレームが転送されません。

3.3　フォワーディングデータベース

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「フォワーディングデータベース」

RESET SWITCH FDB コマンドの PORT パラメーターにポート番号を指定すると、ダイナミックに学習した MAC アドレスの登録をポート単位で削除できません。

3.4 ポート認証

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「ポート認証」

- ○ SET PORTAUTH PORT コマンドの MODE パラメーターに MULTI、CONTROL パラメーターに AUTHORISED を指定しているとき、SHOW PORTAUTH（PORT）コマンドでサプリカント数が正しく表示されない場合があります。
- ○ Authenticator ポートに、ADD SWITCH FILTER コマンドによるスタティック MAC アドレスの登録が可能です。登録されたスタティック MAC アドレスで通信をすることはできません。
- ○ ダイナミック VLAN で、認証されたポートを別の MST インスタンスに所属する VLAN に指定した場合、同一 VLAN 内でも通信ができなくなります。
- ○ ポート認証と攻撃検出機能の Land Attack は併用できません。

3.5 DHCP Snooping

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「DHCP Snooping」

DHCP Snooping の ARP セキュリティー（ENABLE DHCPSNOOPING ARPSECURITY コマンド）と Web 認証の ARP/TCP/UDP パケット透過（SET PORTAUTH PORT コマンドの ARPFORWARDING/TCPPORTFORWARDING/UDPPORTFORWARDING パラメーター）は併用できません。

3.6 バーチャル LAN

参照「コマンドリファレンス」/「バーチャル LAN」

イングレスフィルタリング無効の状態で 2 つの VLAN を作成した場合に、双方のタグなしポート間で、VLAN を超えてフレームを転送してしまうことがあります。

4 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

取扱説明書、および「CentreCOM 9424T コマンドリファレンス 2.11（613-001210 Rev.F）」の補足事項と誤記訂正です。

4.1 本製品起動時のご注意

本製品の電源をオンにしてから起動が完了するまでの間は、電源ケーブルを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。

4.2 CD-ROM（英文マニュアル）について

参照「取扱説明書」14 ページ

取扱説明書 14 ページの「梱包内容」に「CD-ROM（英文マニュアル）」の記載がありますが、CD-ROM の同梱は廃止されましたので、訂正してお詫びいたします。

なお、初期生産時に同梱されていました英文マニュアルの記載内容は、サポート対象外です。日本語版マニュアルのみにしたがって、正しくご使用ください。

4.3 壁設置ブラケット「AT-BRKT-J22」

参照「取扱説明書」15 ページ

取扱説明書に記載がありませんが、本製品は壁設置ブラケット「AT-BRKT-J22」に対応しています。設置方法および取り付け可能な方向は弊社ホームページに公開していますので、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

4.4 動作時温度

参照 「取扱説明書」114 ページ

取扱説明書 114 ページ「本製品の仕様」の表において、動作時温度の値が異なっていましたので、下記のとおり訂正いたします。

誤：0 ～ 40℃

正：0 ～ 45℃

4.5 MAC ベース認証とゲスト VLAN を併用する場合

参照 「コマンドリファレンス」/「スイッチング」/「ポート認証」

MAC ベース認証とゲスト VLAN を併用する場合は、SET PORTAUTH PORT コマンドの VLANASSIGNMENTTYPE パラメーターを USER に設定する必要があります。

5 未サポートコマンド（機能）

以下のコマンド（機能）はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

SET PORTAUTH PORT [FORCERENEWING={ENABLED|DISABLED}]
PURGE/SHOW PKI
SET PKI CERTSTORELIMIT
SHOW IP ROUTE FDB
SET BOOTP RELAY MAXHOPS

6 コマンドリファレンスについて

最新のコマンドリファレンス「CentreCOM 9424T コマンドリファレンス 2.11（613-001210 Rev.F）」は弊社ホームページに掲載されています。
本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、あわせてご覧ください。
コマンドリファレンスのパーツナンバー「613-001210 Rev.F」はコマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

http://www.allied-telesis.co.jp/